

# 町田市の 公共施設再編の事例

現在の市庁舎は2012年7月に開庁しました。  
この市庁舎の建設にあっても、公共施設の再  
編としての取組が行われました。

## ①分散する施設の集約

市庁舎建設にあたっては、複数に分散していた  
公共施設が **1か所に集約** されました。施  
設が集約されることで、**施設総量が減り**  
**維持管理コストを削減** できただけでなく、  
**ワンストップサービスの実現等によ**  
**る市民の利便性も向上** しました。

【市庁舎】



分散していた施  
設を1つに集約



いくつも庁舎を回る  
必要もなくなって、  
今は便利になったわ。



【森野分庁舎】



【木曽庁舎】



【旧市庁舎】



【中町分庁舎】



【中町第二庁舎】



市庁舎の建設による  
経費の削減効果は  
**約 6 億円/年**  
と見込まれています。

【中町第三庁舎】



○その他

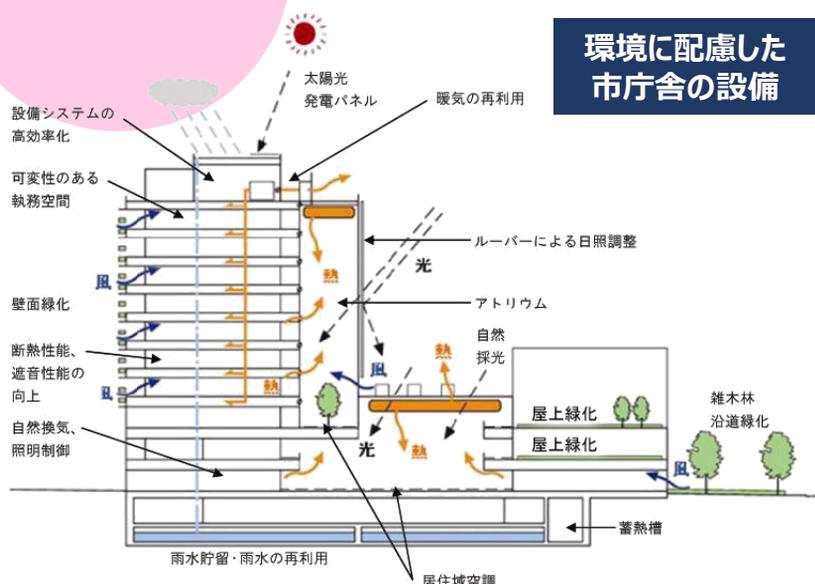
- 【子ども家庭支援センター】
- 【境川クリーンセンター】
- 【健康福祉会館分館】

一部の機能のみ  
移転した施設

- 町田市民フォーラム
- 町田市保健所
- 土木公園サービスセンター
- 健康福祉会館
- 町田リサイクル文化センター
- 成瀬クリーンセンター

## ②環境に配慮した施設設備

太陽光発電設備の設置や雨水の再利用、ビルエネルギーの一括管理などによる効率化により、施設の維持管理コストを抑えています。



### 環境に配慮した市庁舎の設備

#### その他の主な環境負荷低減設備

- 太陽光発電
- 雨水の再利用
- 照明制御システム
- 屋上緑化
- ビルエネルギー管理システム

#### 【太陽光発電】

屋上に設置された太陽光発電パネルで、年間電力量22,500kWh分をまかさないです。これにより、**年間約30万円分の電気料金の削減、約7トンのCO<sub>2</sub>削減効果**が見込まれます。

#### 【雨水の再利用】

雨水を貯留し、トイレ洗浄水や壁面、屋上の緑地等への灌水に再利用し、年間水道使用量約7,400立米分をまかさないです。これにより、**年間約260万円分の水道料金の削減、約2.7トンのCO<sub>2</sub>削減効果**が見込まれます。

## ③市民との連携による取組

市庁舎の4階の屋上花畑は市民ボランティアと協働で管理しているほか、1階のオープンスペースでは、町田産農産物の販売「市役所まち☆ベジ市」の開催や障がい者福祉施設で作られた製品のPR等あらゆる活動が行われています。



【屋上花畑 4階】



【市役所まち☆ベジ市】

## ④市庁舎跡地の活用

再編により生まれたスペースや施設は、現在、町田シバヒロ（旧市庁舎跡地）や新産業創造センター（旧中町第三庁舎）として有効活用しています。



【町田シバヒロ】



【町田新産業創造センター】

